

計画の構成

第1章 当計画の概要

- 1 計画の背景
- 2 計画の位置付け
- 3 計画の期間

第2章 生涯学習の現状と課題

- 1 生涯学習の定義
- 2 国・県の動き
- 3 生涯学習を取り巻く柏市の現状
- 4 第4次計画の総括
- 5 柏市教育振興計画

第3章 計画の目指すもの

- 1 柏市が目指す生涯学習像
- 2 目指す方向性
- 3 計画の推進・評価体制

第4章 計画を推進するための取組

- 1 取組方針
- 2 取組方針の施策体系

第1章 当計画の概要

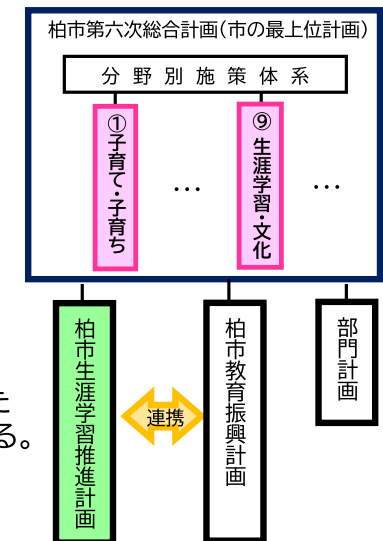
○計画の背景

・第4次計画において、一人一人が生涯学び、生き生きと暮らせるまちを目指し、「笑顔と元気が輪となり広がるまち柏」を将来像に掲げた。

・第4次計画の基本的な理念を踏襲するため、第4次計画の改訂版とし、国の新たな生涯学習施策の方針や、市の関連計画の方向性を加味する。

○計画の位置付け

・市の最上位計画である、「柏市総合計画」の部門計画として策定する。
なお、柏市第六次総合計画においては、施策「生涯学習・文化」に位置付けられている。



・市の教育の目指すべき方向性、目標を示した「柏市教育振興計画」と整合を図ることとする。

○計画の期間

・第4次計画の終期が令和7年度であることから、改訂版は令和8年度から令和13年度までの5年間とする。

令和	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
西暦	2021	2022	2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030
柏市総合計画	柏市第五次総合計画 後期基本計画				柏市第六次総合計画 令和16年度まで					
柏市教育振興計画	第2次 柏市教育振興計画				次期 柏市教育振興計画					
柏市生涯学習推進計画	第4次 柏市生涯学習推進計画				次期 柏市生涯学習推進計画					
柏市芸術文化振興計画	第五次 柏市芸術文化振興計画				次期 柏市芸術文化振興計画					

柏市生涯学習推進計画 骨子案

第2章 生涯学習の現状と課題

○ 生涯学習の定義

- ・国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。
(教育基本法第3条「生涯学習の理念」)

○ 国・県の動き

- ・国は令和5年に教育振興基本計画を策定し、令和9年度までの教育の在り方を示した。

生涯学習分野においては、「生涯学び、活躍できる環境整備」を目標に、大学等と産業界の連携等によるリカレント教育の充実や、働きながら学べる環境整備、現代的・社会的課題に対応した学習、高齢者の生涯学習の推進等が基本施策例に挙げられた。

計画のコンセプト

持続可能な社会の創り手の育成
日本社会に根差したウェルビーイングの向上

○ 柏市第六次総合計画

- ・市政を総合的かつ計画的に進めるための指針である総合計画は、目指す将来の姿と基本的な目標を示す基本構想と、施策を体系的に示す基本計画で構成されている。

柏市生涯学習推進計画は、市の最上位計画である総合計画で示された将来の姿の実現を、生涯学習の面から推進することを目指すものである。

柏市第六次総合計画の基本構想

将来の姿

柏に関わる一人ひとりが想いを実現できるまち
～多様な価値や人々がつながり、新たな価値の創造に挑戦～

基本的な目標

もっと、創造的なまちへ
もっと、居心地のよいまちへ
もっと、地域の個性が輝くまちへ

○ 第〇次柏市教育振興計画 ※次期計画の内容を今後反映予定

- ・柏市教育振興計画は本市における、主に学校教育分野を中心とした計画であり、本計画と密接に関係しながらも、別計画として策定されている。
しかし、国の教育振興基本計画では、学校教育と社会教育、生涯学習が一体的に位置づけられていることから、本計画を推進する際も学校教育との連携は不可欠である。
このため、本計画の策定段階から、次期柏市教育振興計画との整合を確認し、基本理念や施策体系を共有する必要がある。

○ 生涯学習を取り巻く柏市の現状

- ・柏市民の意識調査(今回のアンケート結果から抜粋して掲載予定)

○ 第4次計画の総括

- ・第4次計画における施策体系に紐づく各事業や、市民の意識調査を踏まえて掲載予定

第3章 計画の目指すもの

○ 柏市が目指す生涯学習像

笑顔と元気が輪となり広がるまち柏～学びを通じた人と地域の活性化～

生涯学習とは市民一人ひとりのウェルビーイングの向上、豊かな人生の実現を目指すものであること、また生涯学習を自分事として捉えてもらいたい、といった考えから、現在の生涯学習像を一部修正するもの。

○ 目指す方向性

子どもたちが健やかに成長するように

少子高齢化社会において、子どもたちを全世代、地域総がかりで育む視点と、子どもたちが自己実現を図れる社会にし、未来の地域の担い手となることを期待。

コミュニティの中に人と人のつながりが増えるように

楽しさをベースにした学びのきっかけにし、市民の活動の活発化を狙い、主体的に地域課題を解決していく持続可能な地域づくりをすすめる。

すべての人が学べる環境に包まれるように

世代、障害の有無、時間・経済的制約等に関わらず、市民一人一人がいつでも、どこでも、だれでも学ぶことのできる環境づくりを支援する。

○ 計画の推進・評価体制

- ・毎年度、計画の進捗状況について適切に評価を行い、見直しをすることが必要である。この計画は、外部の有識者を含む附属機関に意見を聴取することで、計画の評価を行う。

中間年度における進捗評価
教育に関する事務の点検・評価(教育委員会所管事業のみ)

柏市生涯学習推進計画 骨子案

第4章 計画を推進するための取組

○ 取組方針

「はじめるきっかけ」を支援

〈実現へのアプローチ〉

あらゆる世代が参加できる様々な学びの充実

障害の有無、言語や時間、経済的制約に関わらず、共に学ぶ環境の充実

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性	イメージ
「楽しい」「面白い」「成長したい」を学びのきっかけに	「楽しさ・面白さ」「手軽さ」「自己研鑽」を入口にした学びの仕掛け	 夏休み子ども教室 ～楽しく学ぼう柏の水道水～ 【生涯学習課】
行政は市民の平均的なニーズにアプローチするが、学びのニーズは人それぞれにあり、ピンポイントに届ける必要がある	・行政が学びのニーズを把握 ・個々人の細かな学びのニーズに対して、民間との連携が必要	学びの総合相談 【さわやかちば県民プラザ】 
学びへの参加を後押しする人、伴走者が必要	学びの支援者育成を含めた、学習環境の整備 施設情報を含む学びの情報を障害のある人も含めた、外国人や産育休中の学びなおし等、多様なニーズに応える	 あ・えーるテラス ～障がい者の社会参加～ 【ラコルタ柏内】

「もっと知りたい、つながりたい」を支援

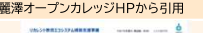
〈実現へのアプローチ〉

団体同士、学ぶ人同士の交流、大学や民間事業者との連携

より深い学び・**学び直し**への発展

生涯学習実施機関との連携

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性	イメージ
情報発信や講座開催における、大学・民間・行政の役割分担	イベント等をきっかけとした参加者、学びのつながりの創出	 麗澤オープンカレッジ ～ライフスタイルを再発見～ 【麗澤大学】 
行政機関間での連携だけでなく、行政と団体・民間との連携が必要である	生涯学習実施機関(行政、団体、民間を含む)のネットワーク化の推進	 リカレント教育 エコシステム構築支援事業 【文部科学省】

「ひろく伝えたい、学びを活かしたい」を支援

〈実現へのアプローチ〉

人材の育成、コミュニティの育成、**ソフト・ハード両面での活動の場の整備**

〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

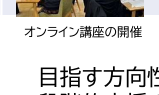
必要な視点	方向性	イメージ
市民の学びのニーズを行政がキャッチすることで、各人の活動が自然と広がる	学びをきっかけとした地域団体・市民活動団体との連携と、地域活動につながる仕掛け 社会教育士などのコーディネーター人材の活用	 かしわ市民大学 ※休止中 【市民活動支援課】 柏観光プロダクションFBより引用  社会教育の裾野の広がりと、社会教育人材が果たすべき役割 【文部科学省】

「学びのための情報提供」を支援

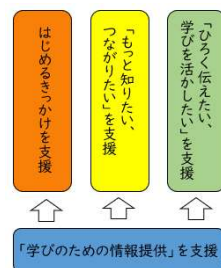
〈実現へのアプローチ〉

学びのプラットフォームの整備

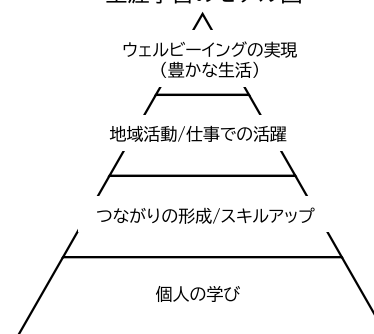
〈実現に向けて必要な視点と方向性〉

必要な視点	方向性	イメージ
情報洪水で様々な情報があり、必要な情報が流されない発信が必要	・市所管の活動団体が情報発信するツールの整理 ・民間情報を含めた、生涯学習情報の一元化	 ガイド  生涯学習情報サイトらんらんかしわ ←生涯学習ガイド
子ども目線での情報発信が必要	・ICTツールの利用も含めた学びの支援 ・引き続き、紙媒体での広報が有効な場面もある	 オンライン講座の開催  GIGA端末の活用

取組方針の関係性



生涯学習のモデル図



目指す方向性を実現するための段階的支援のイメージ

